



第11回運営委員会

日時： 平成31年1月22日 (火) 16:00~18:00

場所： 気象庁 2階 講堂

議題

<審議事項>

1. 運営委員の変更
2. 危機管理産業展 (RISCON TOKYO) 2019 への協力について
3. 平成31年度のWXBCの運営体制・活動内容 (案)

<報告事項>

1. 気象庁の取組について
2. 第3回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
3. 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
4. WXBC名義使用の承認
5. 人材育成WG報告
6. 新規気象ビジネス創出WG報告
7. 進行中の気象ビジネスの状況
8. 広報関係
9. 今後のスケジュールについて

<審議事項>

1. 運営委員の変更
2. 平成31年度の活動計画について

審議事項 1. 運営委員の変更

● 2年の任期（H29.3.11～H31年の総会まで）の途中での運営委員の変更

（敬称略）

変更後		変更前（五十音順）		変更理由
遠山 雅之	(株) ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	遠山 雅之	(株) ウェザーニューズ セールス&マーケティンググループ グループリーダー	
大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 本部 企画調整部 研究管理役 兼 農業情報研究センター 連携調整室長	大野 宏之	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター 気候変動対応研究領域 上級研究員	人事異動
沖野 剛史	(株) 東芝 技術統括部 技術企画室 参事	沖野 剛史	(株) 東芝 技術統括部 技術企画室 参事	
足海 義雄	(株) ハレックス 常務取締役	足海 義雄	(株) ハレックス 常務取締役	
木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授 (副会長)	木本 昌秀	東京大学大気海洋研究所 教授	
越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授 (会長)	越塚 登	東京大学大学院情報学環 教授	
櫻井 康博	(一財) 日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 部長	櫻井 康博	(一財) 日本気象協会 メディア・コンシューマ事業部 部長	
菅波 潤	富士通(株) テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 シニアマネージャー	菅波 潤	富士通(株) テクニカルコンピューティングソリューション事業本部 TC統括営業部 シニアマネージャー	
橘 克憲	(株) パスコ システム事業部 事業部長	橘 克憲	(株) パスコ システム事業部 事業部長	
田中 真司	ヤフー(株) メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	田中 真司	ヤフー(株) メディアカンパニー ライフライン事業本部 Yahoo!天気・災害 サービスマネージャー	
田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	田原 春美	先端IT活用推進コンソーシアム 副会長	
中田 雅史	アサヒ飲料(株) 理事	中田 雅史	アサヒ飲料(株) 理事	
秦野 芳宏	(株) ローソン 経営戦略本部 副本部長	秦野 芳宏	(株) ローソン 経営戦略本部 副本部長	
金城 秀樹	(株) 三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 デジタルイノベーション室 シニアプロジェクトマネージャー	金城 秀樹	(株) 三井物産戦略研究所 技術・イノベーション情報部 デジタルイノベーション室 シニアプロジェクトマネージャー	
藤川 優	大塚製薬(株) 業務管理部 部長	藤川 優	大塚製薬(株) 業務管理部 部長	
大野 慎吾	三井住友海上火災保険(株) 商品本部 次世代開発推進チーム長	大野 慎吾	三井住友海上火災保険(株) 商品本部 次世代開発推進チーム長	
村上 文洋	(株) 三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	村上 文洋	(株) 三菱総合研究所 社会ICT事業本部 ICT・メディア戦略グループ 主席研究員	
立仙 和巳	(株) 日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	立仙 和巳	(株) 日立製作所 サービス営業推進本部 ビジネスプロデュース企画部 主管	

危機管理産業展（RISCON TOKYO）2019 特別併催企画「気象ビジネスEXPO（仮称）」企画協力について

【趣旨】

「危機管理産業展」において、今年度の特別併催企画として「気象ビジネスEXPO（仮称）」を一つの展示エリアとして新設する。来場する自治体の危機管理担当者をはじめ、重要インフラ従事者、気象データを用いたソリューションを必要とする民間事業者等の来場者に対して、気象データの有効活用と新たなビジネス展開などの有益性を展示し、気象ビジネスを広範に周知する企画として実施する。

【RISCON基本情報】

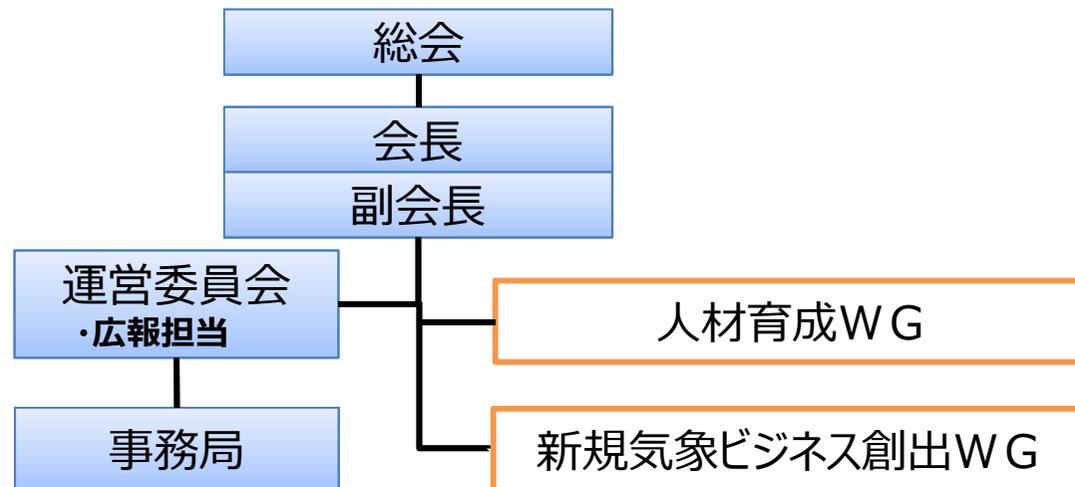
会期：2019年10月2日（水）～4日（金）

会場：東京ビッグサイト 青海展示棟

審議事項 3. 平成31年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

1. 運営体制

- これまでと同様、総会、運営委員会、人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、広報担当の体制を継続する。
- 会長、副会長の任期はWXBC規約により2年、運営委員の任期はWXBC細則により2年であることから、H31.2.28のWXBC総会にて改選。



2. 活動内容

気象ビジネスフォーラムの開催

気象ビジネスフォーラムをWXBCの総会と併せて開催し、WXBCの活動の成果を効果的にアピール

関係機関、団体との連携

VLED、IoT推進ラボと連携したように、関係省庁、関係機関、団体と連携してWXBCの活動を効果的に実施

人材育成WGの取り組み

- ①気象データ利用のための環境整備・充実（ツール類、Hint&Tips集等）
- ②WXBCセミナーの開催（東京及び地方都市）
- ③テクノロジー研修の開催（東京及び地方都市）
（継続）気象データ分析チャレンジ！
（新規）IoTチャレンジ！、AIチャレンジ！
- ④地方における活動強化のための仕組み作り<日本気象予報士会との連携>

連携

新規気象ビジネス創出WGの取り組み

- ①新規気象ビジネス創出に向けた検討
・WGメンバー等の有志による自発的な実証実験
（気象庁は気象データに係る助言等の必要な支援）
- ②マッチングイベントの開催
- ③気象データの利活用事例集の拡充
- ④地方における活動強化<人材育成WGと連携>

気象庁の取り組み（案）

データ提供等の
フィードバック

WXBC会員からの
フィードバック

データ提供等の
フィードバック

ユーザーが気象データと他のビッグデータを用いた分析をより迅速・簡便に行えるよう、気象庁から過去の気象観測・予測データを機会可読形式で取得しやすい提供環境を構築し、試行的に広く一般にデータ提供を行い、データ提供等に関する知見を気象庁へフィードバックいただく。

審議事項 3. 平成31年度のWXBCの運営体制・活動内容（案）

人材育成WGの取り組み（詳細）

【活動目的】 知見・技術の習得・討議の場を提供し、気象ビジネスの創出および市場拡大のための人材を育成

【3年目の活動目標】 「気象データを使ってみよう！」

【3年目の取り組み】 「気象データを使ってみよう！」に資する活動展開 + 次の人材育成のあり方検討に着手

1. 気象データ利用のための環境整備・充実

1) 気象庁と連携協力し、環境整備に着手

- ① ツール類の充実 ② 利用/開発の手引きやHint & Tips集の作成 ③ APIについての議論

2. 気象データの利用 & IoT、AI利用の普及・推進

1) WXBCセミナー：「気象データを使ってみよう！」に沿う企画とIoT、AI利用の事例紹介に注力

2) テクノロジー研修：

① 既存チャレンジ！のe-Learning化、地方開催の推進：(a)アメダスデータ (b)メッシュデータ

② 新規コースの開催：(a)確率予報分析チャレンジ！ (b)IoTチャレンジ！ (c)AIチャレンジ！

3) 地方展開：

地域の産業形態への対応が好評であることを踏まえ、一層地方色にあう仕組み作りに着手

① 一部の管区气象台において、日本気象予報士会支部との連携で試行

② 地域活動を牽引できるリーダーの養成を試行

4) 人材育成WG内勉強会：

① 意見交換で理解を深め、気象ビジネスの発想力を培う「気象ビジネスへの取組み紹介」の継続

② 気象ビジネスへのIoT利用に必要な知識や技術力を培う「気象xIoT勉強会」の継続・発展

3. 4年目以降の人材育成のあり方検討

1) 新しいビジネスや新技術を視野に、「気象データを使いこなし、ビジネスに利用する」に必要な知識、技術、スキルの整理と再設定に着手

- ① ビジネスケース毎のフレームワーク化検討 ② シラバスとの対応づけ検討 等

【運営委員会への提案案件：WXBCの活動強化と発展を目指して】

1. 地方の活動活性化（活動を牽引できるリーダーの養成） 2. 「気象ビジネスコーディネーター」等の制度

【新しい取り組み】

3年目は「気象データを使ってみよう！」に資する活動とともに、「気象データを使いこなし、ビジネスに活かそう！」にレベルアップしていくための準備にも取り組む

1. 気象データ利用のための環境整備

“気象ビジネスを推進”するために『気象データを容易に、不要なコストをかけずに自在に操れる』ことは不可欠であり、本WG3年目の活動目標である“気象データを使ってみよう！”を支える基盤でもある。活動3年目となる本年度から下記を主体とする環境整備に注力する。

挑戦： ①ツール類の充実 ②利用/開発の手引きやHint & Tips集等の作成 ③APIについての議論

進め方：気象庁の連携協力を得て実施

気象庁) 気象庁や学会から発信されている既存の技術資料等を整理し、提示

WG側) サブWGを立ち上げ、必要なもの、作成すべきものを検討

気象庁からの提示案と照合し、以後の活動内容を検討し実施

2. 4年目以降の人材育成のあり方に資する活動目標と施策検討

人材育成WGはこの3年間「気象データを理解し、試用から使用へ」を目標として活動展開中。

4年目以降を見据え、今後対応すべき新技術やその養成などの人材育成に関する検討に着手する。

挑戦： 新しいビジネスや新技術を視野に、「気象データを使いこなし、ビジネスに利用する」に必要な知識、技術、スキルの整理と再設定

①ビジネスケース毎のフレームワーク化検討 ②シラバスとの対応づけ検討 等

進め方：サブWGを立ち上げ、検討を開始

3. 地方展開の強化

地方展開の重要性に鑑み、より一層地方のニーズにあわせた活動展開のための基盤作りに着手する。

挑戦： 仕組み作りと活動を牽引できるリーダーの養成

進め方：一部の管区气象台において、日本気象予報士会支部との連携で試行

【継続活動と今後の課題】

下記活動のいずれも参加者から高い満足と評価を得ている。3年目も各活動を継続し、反省と課題を踏まえて改善し、更なる充実を目指したい。

1. WXBCセミナー@東京

- ・継続：基本形（データの概要・特徴、データ形式の紹介＋ビジネス事例の紹介、体験コーナーの設置）
- ・今後の課題：気象データの紹介後に、即、データに触ってもらうハンズオンの実施
－事務局と運営方法を検討

2. テクノロジー研修

- ・継続：アメダス版：e-Learning化&公開
メッシュデータ版：初版をブラッシュアップ&ライブラリー作成等を検討し開催。
- ・今後の課題：メッシュデータ版：e-Learning化&公開。地方での開催
XML版（確率予報）：内容検討&研修パッケージ開発&開催
IoTチャレンジ！、AIチャレンジ！：内容検討&研修パッケージ開発&開催

3. WG内勉強会

1)「気象ビジネスへの取り組み紹介」

気象ビジネスの全体像を把握する機会として、気象ビジネスの発想を得る機会として好評であり継続

今後の課題：WGメンバーによる紹介に加え、WGメンバー外やWXBC会員外による紹介へ拡大

現場見学や出張勉強会の実施

アウトプットの作成（フィードバックシート（キーワード、感想等）のまとめ）

2)「気象xIoT勉強会」

アイデアコンテスト受賞事例を具現化する試みは気象データの活用イメージを広く知ってもらう良い機会

今後の課題：試作のテーマや視点（事例調査等）を変えて継続するかを検討

「気象xICT勉強会」としてIoTからの発展的取り組みについても検討

新規気象ビジネス創出WGの取り組み（詳細）

気象データを活用した新たなビジネスの創出に向け、WGメンバーによる自発的な実証実験、異業種間のマッチングイベントの開催、気象データの利活用事例集の更新等を行う。

①新規気象ビジネス創出に向けた検討

- ・WGメンバー等の有志により自発的に行われる実証実験の結果について、可能な範囲でWGにご報告いただくとともに、気象ビジネスフォーラム等の場でご発表いただく。
- ・気象庁は気象データに係る助言等の必要な支援を行う。

②第2回気象ビジネスマッチングフェアの開催

マッチングフェア等で新たに創出された「新規気象ビジネス」の広報、表彰等。

③気象データの利活用事例集の拡充

今年度作成した事例集に、新たなビジネス事例を追加して拡充する。

④人材育成WGとの連携（地方展開）

広報関係（詳細）

WXBCの広報活動に関しては、これまで実施していることの充実を図りつつ、他機関等と連携した活動を積極的に実施していく。

①WXBCホームページの拡充

- ・WXBC全体の紹介ページ、WG紹介ページ、会員紹介ページの作成
- ・現在の募集中のトピックス等をわかりやすくする等の工夫

②WXBCツイッター

- ・タイムリーな話題の提供等を継続

③WXBCユーチューブに掲載する動画の充実

- ・掲載する動画の充実（オンライン研修資料の掲載等）

④WXBCニュースレターの内容充実

- ・補助金等の情報については、事前募集の段階から周知する等の工夫を実施

⑤関係機関と連動した周知活動

- ・関係省庁（総務省、経済産業省、中小企業庁等）と連携した周知活動
- ・商工会議所等と連携した周知活動

⑥他機関とのイベントと連動したイベントの開催

- ・アジアオープンデータハッカソン等のイベントと連携した周知活動
- ・関係省庁と連携し、補助金やイベントの案内を実施

<報告事項>

1. 気象庁の取組について
2. 第3回WXBC総会、気象ビジネスフォーラムについて
3. 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更
4. WXBC名義使用の承認について
5. 人材育成WG報告
6. 新規気象ビジネス創出WG報告
7. 進行中の気象ビジネスの状況
8. 広報関係
9. 今後のスケジュールについて

報告事項 1. 気象庁の取組について

平成31年度予算（政府案）

生産性向上のための気象ビッグデータ提供環境の構築

11百万円

◎気象ビッグデータ(過去データ)については、AIでの活用など、そのニーズは急速に高まりつつあるが、データ量が膨大であり、現行のシステムでは、その提供に限界がある。このため、クラウド技術を活用し、新たに気象ビッグデータの利活用を促進するための提供環境を立ち上げることとする。

現在【for Human（人向けの情報提供）】

大容量データ

- 他の業務への影響から、一度に取得可能なデータ量を制限
- プログラム開発に必要なメッシュデータ※は容量が大きいため提供が困難

閲覧だと分析データとして使いにくい

気象庁のHPにアクセス

大量のデータを取得できないし、操作に手間がかかる

少量データ

人によるデータの閲覧が可能
人の操作による少量データの取得が可能

※メッシュデータ:実測データを基に、地域・空間を格子状に区切った点ごとに推計した気象データ

構築後【for Machine（機械向けの情報提供）】



連携・支援

気象ビジネス推進コンソーシアム（平成29年3月設立）

（産学官の連携のもと、フォーラム、人材育成セミナー、企業間マッチング等、気象ビジネスの創出・発展に向けた取り組みを実施）

第3回WXBC総会

日時：平成31年2月28日（木） 11時00分～11時45分（受付開始：10時15分）

場所：一橋講堂 2階 講堂

定員：500名（各会員1名を優先し、残席数に応じて先着で受付）

次第：

1. 開会 挨拶：越塚会長
2. 運営委員の選任（事後承認）
3. 活動報告
人材育成WG関連：田原座長
新規気象ビジネス創出WG関連：村上座長
運営委員会開催状況、広報活動、関係機関と連携した活動等の報告
4. 平成31年度活動計画（案）の承認
5. 会長、副会長、運営委員の選任（2年に一度改選）
6. 質疑
7. 閉会 挨拶：気象庁長官

第 3 回気象ビジネスフォーラム

目的・概要：

気象データを利活用したビジネス創出のきっかけとなるよう、会員に気象ビジネスの着想・ヒントを与えられる内容とする。「気象データが拓く未来のビジネス」として、会員企業における気象ビジネス事例の紹介を行うとともに、AI等の先端技術の活用等による今後のビジネス展望についてトークセッションを行う。併せて、気象、IT、製造業等の各企業によるブース展示を行い、企業間のマッチングを促進する。

日時：平成31年2月28日（木）10時00分～17時00分（展示）

各WG報告・ビジネス事例紹介・トークセッション：13時00分～16時30分（受付開始：12時15分）

場所：一橋講堂

対象者：フォーラム：会員（優先）及び非会員 500名（先着順）

展示主体：会員のみ（32ブース）

司会：植木奈緒子（うえきなおこ）様（気象予報士、気象キャスター）

第3回気象ビジネスフォーラム

イベント概要及びタイムスケジュール

13時00分～13時05分：国土交通大臣によるご挨拶（想定）

13時05分～13時10分：WXBC会長ご挨拶

13時10分～13時50分：気象ビジネス創出に係る1年間の成果発表
人材育成WG、新規気象ビジネス創出WG、気象庁

13時50分～14時30分：気象データを活用したビジネス事例紹介
（株）JTB、（一社）全国清涼飲料連合会、（株）ハレックス、三菱重工（株）

14時30分～15時00分：休憩

15時00分～16時15分：気象ビジネスの展望に関するトークセッション
越塚WXBC会長、松尾豊東京大学大学院特任准教授、
泉浩人（株）ルグラン共同CEO、橋田気象庁長官

16時15分～16時20分：気象庁長官によるご挨拶（5分）

16時20分～16時30分：写真撮影（10分）

報告事項 3. 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

●人材育成WG（平成31年1月18日現在：82社）（敬称略）

座長：AITC 田原 春美

副座長：（一社）日本気象予報士会 岩田 修
：NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭

所属	備考	所属	備考	所属	備考
1 AITC	運営委員	31 株式会社エーティーエルシステムズ		60 国際興業株式会社	
2 JapanTaxi株式会社		32 株式会社彩洋		61 株式会社JTB	
3 株式会社石川コンピュータ・センター		33 株式会社タニタハウジングウェア		62 シーエルエムラボ合同会社	
4 岐阜大学大学院		34 株式会社Fusic		63 総合気象計画株式会社	
5 一般社団法人全国清涼飲料連合会		35 リーディングエッジ株式会社		64 株式会社D4D	
6 徳島大学		36 株式会社フューチャーラボラトリ		65 株式会社データロード	
7 日通学園流通経済大学		37 株式会社シップデータセンター		66 凸版印刷株式会社	
8 一般財団法人日本気象協会	運営委員	38 株式会社NTTデータ・エム・シー・エス		67 トリノ・ガーデン株式会社	
9 一般社団法人日本気象予報士会		39 株式会社富士通アドバンスエンジニアリング		68 株式会社バンダイナムコスタジオ	
10 公益社団法人日本バス協会		40 株式会社BCN		69 合同会社PDジャパン	
11 (国研) 農業・食品産業技術総合研究機構	運営委員	41 株式会社電通テック		70 ホルトプラン合同会社	
12 ハイパーアグリ株式会社		42 株式会社オリコム		71 MicroWorld株式会社	
13 株式会社ハルックス	運営委員	43 株式会社ソシオリカ		72 みんなのタクシー株式会社	
14 株式会社日立製作所	運営委員	44 一般財団法人日本ファッション協会		73 株式会社ALiNKインターネット	
15 富士通株式会社	運営委員	45 株式会社Luminateo		74 株式会社okicom	
16 株式会社北海道総合技術研究所		46 学校法人関東学院		75 株式会社ゲイト	
17 ホッピービバレッジ株式会社		47 国際商務株式会社		76 株式会社勝栄	
18 株式会社マーチャンダイジング・オン		48 株式会社JMDC		77 トライティ株式会社	
19 株式会社レッドマルスADベンチャー		49 西松建設株式会社		78 有限会社パークソフト	
20 株式会社アイシーエス		以下は、第10回運営委員会以降の加入			
21 光陽無線株式会社		50 株式会社GDIコミュニケーションズ			
22 ジオテック技術士事務所		51 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター			
23 株式会社コム・アンド・コム		52 ソニービジネスソリューション株式会社			
24 広島工業大学		53 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所			
25 株式会社マルツ電波		54 武蔵野大学			
26 ユニー株式会社		55 ESRIジャパン株式会社			
27 株式会社ルグラン		56 大阪大学			
28 ANAホールディングス株式会社		57 株式会社オブティム			
29 東レ株式会社		58 株式会社KYOWAIエンジニアリング・ラボラトリー			
30 慶應義塾大学		59 Good Things			

※ 4社は非公開。

報告事項 3. 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

●新規気象ビジネス創出WG（平成31年1月8日現在：137社）（敬称略）（1/2）

座長：三菱総合研究所 村上 文洋

副座長：富士通（株） 菅波 潤

所属	備考	所属	備考	所属	備考
1 株式会社IHI		31 一般社団法人日本能率協会		61 株式会社マルツ電波	
2 JapanTaxi株式会社		32 公益社団法人日本バス協会		62 ユニー株式会社	
3 NTT空間情報株式会社		33 ハイパーアグリ株式会社		63 株式会社ルグラン	
4 株式会社NTTデータ経営研究所		34 株式会社パスコ	運営委員	64 エスベック株式会社	
5 M-SAKUネットワークス		35 株式会社ハルックス	運営委員	65 Splunk Services Japan合同会社	
6 株式会社 Realmedia Lab.		36 株式会社日立製作所	運営委員	66 東レ株式会社	
7 TISソリューションリンク株式会社		37 富士通株式会社	運営委員	67 ゲヒルン株式会社	
8 株式会社TRUEDATA		38 株式会社フランクリンジャパン		68 ANAホールディングス株式会社	
9 石川コンピュータセンター		39 プランテオ株式会社		69 一般社団法人 日本ドローン協会	
10 株式会社ウェザーニューズ	運営委員	40 株式会社北海道総合技術研究所		70 慶應義塾大学	
11 株式会社エムティアイ		41 株式会社ポック		71 株式会社キャレット・アスタリスク	
12 応用地質株式会社		42 ホッピービバレッジ株式会社		72 株式会社彩洋	
13 大塚製薬株式会社	運営委員	43 株式会社マーチャンダイジング・オン		73 リーディングエッジ株式会社	
14 沖電気工業株式会社		44 三井住友海上火災保険株式会社	運営委員	74 株式会社タニタハウジングウェア	
15 株式会社環境エネルギー研究所		45 株式会社 三菱総合研究所	運営委員	75 株式会社エーティーエルシステムズ	
16 株式会社構造計画研究所		46 株式会社ミライト・テクノロジーズ		76 株式会社Fusic	
17 国際航業株式会社		47 明星電気株式会社		77 株式会社フューチャーラボラトリ	
18 佐川急便株式会社		48 地方独立行政法人山口県産業技術センター		78 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	
19 シャープ株式会社		49 株式会社ライブビジネスウェザー		79 株式会社シブデータセンター	
20 新日鉄住金ソリューションズ株式会社		50 リアルワールドゲームズ株式会社		80 株式会社NTTデータ・エム・シー・エス	
21 株式会社スポーツウェザー		51 株式会社レッドマルスADベンチャー		81 株式会社富士通アドバンスエンジニアリング	
22 一般社団法人全国清涼飲料連合会	運営委員	52 株式会社ローリス		82 株式会社BCN	
23 ソフトバンク株式会社		53 NextDrive株式会社		83 株式会社電通テック	
24 株式会社東芝	運営委員	54 株式会社アイシーエス		84 日本工営株式会社	
25 徳島大学		55 光陽無線株式会社		85 一般財団法人日本ファッション協会	
26 日通学園流通経済大学		56 株式会社コム・アンド・コム		86 株式会社Luminateo	
27 日本IBM株式会社		57 ジオテック技術士事務所		87 株式会社ソシオリカ	
28 日本気象株式会社		58 シムマヤジオ合同会社		88 株式会社オリコム	
29 日本電信電話株式会社		59 一般財団法人水源地環境センター		89 国際商務株式会社	
30 株式会社日本ネットワークサービス		60 広島工業大学		90 株式会社JMDC	

報告事項 3. 人材育成WG、新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

●新規気象ビジネス創出WG（平成31年1月8日現在：137社）（敬称略）（2/2）

座長：三菱総合研究所 村上 文洋

副座長：富士通（株） 菅波 潤

所属	備考	所属	備考
91 学校法人関東学院		120 Pacific Spatial Solutions株式会社	
92 オーシャンソリューションテクノロジー株式会社		121 株式会社バンダイナムコスタジオ	
93 有限会社アルテ		122 Haloworld株式会社	
94 西松建設株式会社		123 ビーエムアンドダブリュー株式会社	
以下は、第10回運営委員会以降の加入		124 合同会社 PDジャパン	
95 株式会社IIJグローバルソリューションズ		125 ホルトプラン合同会社	
96 合同会社イチロ		126 MicroWorld株式会社	
97 大阪大学		127 みんなのタクシー株式会社	
98 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター		128 武蔵野大学	
99 株式会社オプティム		129 株式会社リスニ	
100 株式会社風見屋		130 レモンガス株式会社	
101 京セラコミュニケーションシステム株式会社		131 ESRIジャパン株式会社	
102 株式会社KYOWAエンジニアリング・ラボラトリー			
103 Good Things			
104 国際興業株式会社			
105 さくらインターネット株式会社			
106 サンエービルドシステム株式会社			
107 シーエルエムラボ合同会社			
108 株式会社GDIコミュニケーションズ			
109 株式会社JTB			
110 株式会社ジェノバ			
111 株式会社Sensor&Network			
112 総合気象計画株式会社			
113 ソニービジネスソリューション株式会社			
114 株式会社D4D			
115 株式会社データロード			
116 凸版印刷株式会社			
117 トリノ・ガーデン株式会社			
118 株式会社ナチュラルアート			
119 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所			

※ 6社は非公開。

(1) 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター様イベントの後援 (1/11にメールにて照会→承認)

イベント名：第12回農業気象研究会

イベント概要：「気象情報とICTを活用した栽培管理支援技術の管理の展開」をタイトルとし、多くの方から様々な栽培管理について取組が紹介されます。また、気象情報を使用した様々な栽培管理支援技術の展開についても紹介されます。

日時：平成31年3月13日 10時～16時

場所：東京駅、浜松町駅周辺（予定）

(2) 公共交通 オープンデータ協議会様イベントのオープンデータパートナー (1/11にメールにて照会→承認)

イベント名：第3回東京公共交通オープンデータチャレンジ

イベント概要：多種多様な人々が複雑な首都圏の公共交通機関をスムーズに乗りこなせるようにするための「公共交通オープンデータセンター」の構築をさらに推進し、公共交通オープンデータを2020年移行のレガシーとすることを目指す。

実施期間：2019年1月16日～2020年3月31日

応募期間：2019年1月16日～2019年11月15日

結果発表・表彰式：2020年1月下旬

1. 報告事項

(1) 人材育成WGの体制について

(2) イベント開催報告

- ・10月11日（木）アメダス気象データ分析チャレンジ！@名古屋
- ・11月 2日（金）メッシュ気象データ分析チャレンジ！
- ・11月 9日（金）平成30年度第3回WXBCセミナー@東京
- ・11月28日（水）平成30年度WXBCセミナー@札幌
- ・12月 3日（月）平成30年度WXBCセミナー@大阪
- ・12月 4日（火）平成30年度WXBCセミナー@福岡
- ・12月13日（木）WXBC座談会@沖縄
- ・1月21日（月）平成30年度WXBCセミナー@仙台

(3) イベント開催計画

- ・2月20日（水）アメダス気象データ分析チャレンジ！@大阪
- ・2月22日（金）平成30年度WXBCセミナー@新潟

(4) WG内勉強会活動報告

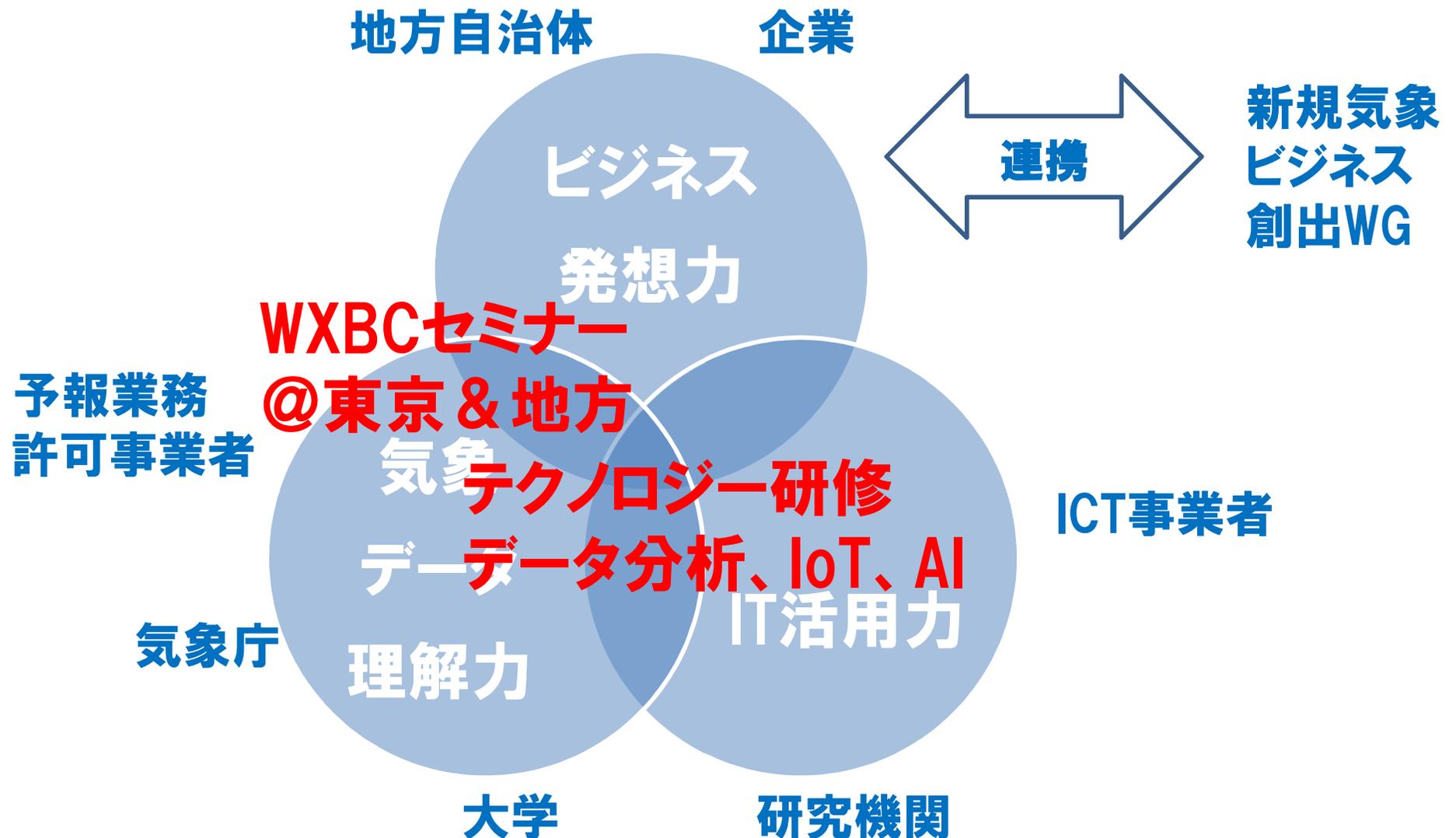
- ・気象ビジネスの取り組み紹介
- ・気象×IoT勉強会

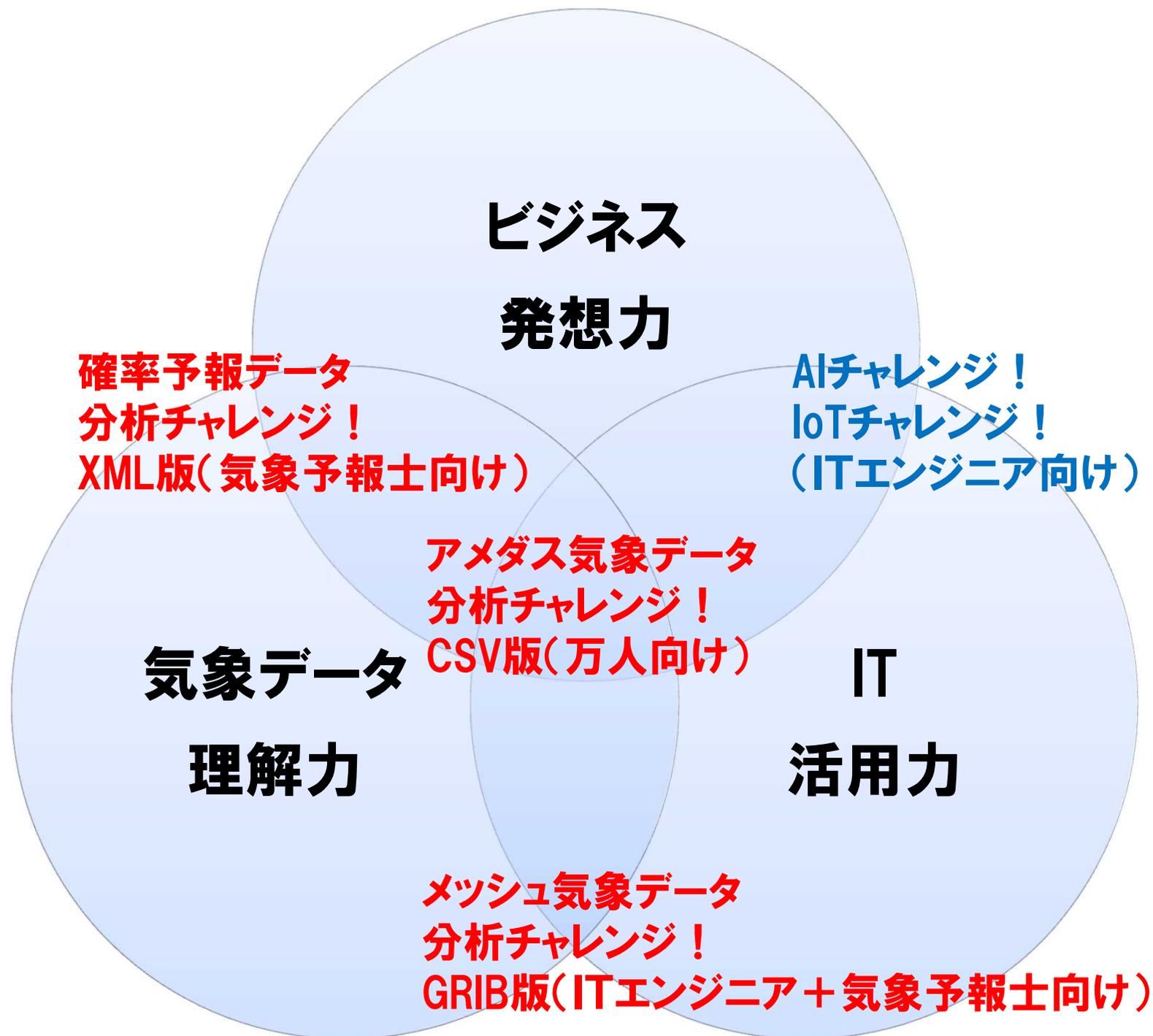
参考資料 1 : 2年目の活動目標

1年目: 気象データの理解と認知度の向上に注力!(理解しよう!)

2年目: 気象データ利用の啓発に注力!(触ってみよう! 試してみよう!)

3年目: 気象データ利用の向上に注力!(使ってみよう!)



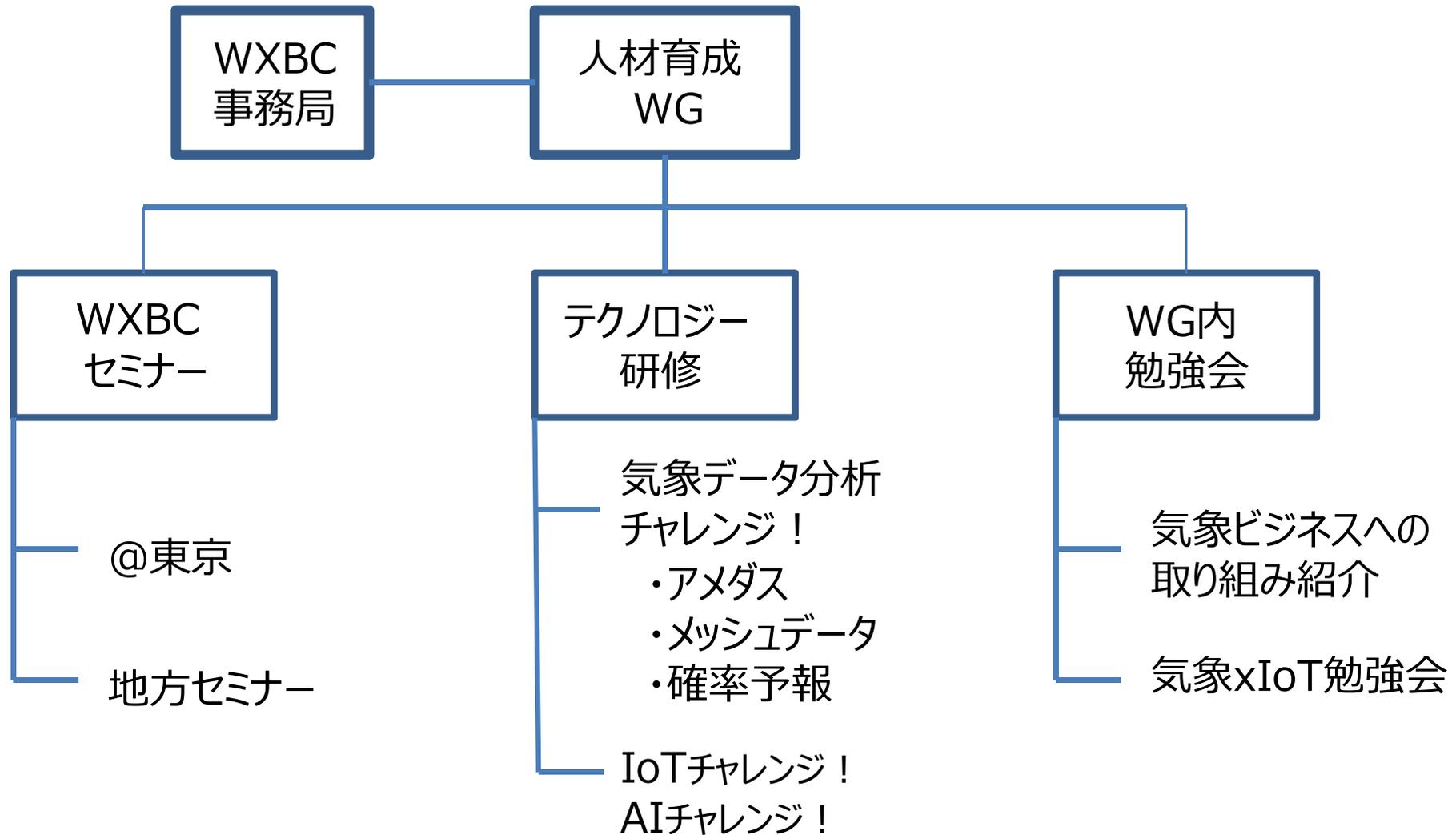


(1) 人材育成WGの体制について

座長：AITC 田原 春美

副座長：一般社団法人日本気象予報士会 岩田 修

：NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭



(2) イベント開催報告 (平成30年10月4日～平成31年1月22日) (1 / 4)

■ アメダス気象データ分析チャレンジ！ @名古屋

開催日時：平成30年10月11日 (木) 9:00～17:00

概要：アメダス気象データ分析チャレンジ！ (Excel版)

気象データの紹介～気象データと組み合わせるデータの紹介I～

データ分析の基礎と個人ワーク～回帰分析の基礎～

気象データと組み合わせるデータの紹介II

グループワーク

参加者：24名 + スタッフ5名

■ メッシュ気象データ分析チャレンジ！

開催日時：平成30年11月2日 (金) 9:30～18:00

概要：気象庁が保有するGRIB2データをプログラミング言語Pythonで処理

講義I：気象庁GPVデータについて

実習I：気象庁GPVデータのブラウズ

講義II：PythonによるGRIB2ファイル処理の基礎

実習II：wxbcgribライブラリを用いた数値予報GPVの処理

グループワーク

参加者：36名 + スタッフ11名

■ 人材育成WG：7月20日 (金)、9月14日 (金)

報告事項 5. 人材育成WG報告

(2) イベント開催報告 (平成30年10月4日～平成31年1月22日) (2 / 4)

■平成30年度第3回WXBCセミナー@東京

開催日時：平成30年11月9日 (金) 11:00～16:30

概要：気象データの全体像＋気象データの入手方法 (午前、希望者のみ)

降水15時間予報データ・ガイダンスデータの概要・特徴＋データ形式 (GRIB2他)

ナウキャストデータの概要・特徴＋データ形式 (GRIB2)

旅のミライへ！日本の四季を観光資源に、気象データと観光予報プラットフォームの可能性

株式会社JTB様

食品ロス・廃棄を削減するデータ流通基盤「需給最適化プラットフォーム」

～気象データを活用した、予測精度の更なる向上～ 日本電気株式会社 (NEC) 様

参加者：午前39名、午後121名

■平成30年度WXBCセミナー@札幌

開催日時：平成30年11月28日 (水) 14:00～16:20

概要：「気象データの全体像」

「ひまわりが地球に贈るもの」～気象衛星ひまわりの観測～

「気象情報はビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

参加者：53名

セミナー終了後、希望者に対して特別講演を実施

「気象庁データを活用した農業向け気象データサービス」 農研機構 大野 宏之 様

(2) イベント開催報告 (平成30年10月4日～平成31年1月22日) (3 / 4)

■平成30年度WXBCセミナー@大阪

開催日時：平成30年12月3日 (月) 14:30～17:00

概要：気象データの全体像＋気象データの入手方法 (開会前、希望者のみ)

気象衛星ひまわりで何が見えるのか ～気象衛星観測データの概要・特徴・形式～
「気象データはビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

気候リスク管理の基礎～気候情報のビジネスへの活かし方～

自販機ビジネス HOT販売開始時期における気象データ活用について

ダイードリンク株式会社 様

参加者：67名

■平成30年度WXBCセミナー@福岡

開催日時：平成30年12月4日 (火) 14:00～17:00

概要：「気象ビッグデータの全体像とビジネスへの活用」

「ひまわりが地球に贈るもの ～気象衛星ひまわりの観測～」

「気象情報はビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

「気象データを利用した3次元地図とシミュレーションの融合技術」

株式会社日立製作所 様

参加者：90名

(2) イベント開催報告 (平成30年10月4日～平成31年1月22日) (4 / 4)

■ WXBC座談会@沖縄

開催日時：平成30年12月3日 (月) 14:00～16:00

概要：気象データの全体像、気象衛星観測データ

「気象データはビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

座談会

ファシリテーター：NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

参加者：ANA沖縄空港株式会社、株式会社ロワジュール・ホテルズ沖縄、沖縄ツーリスト株式会社、日本電気株式会社、レキオソフト株式会社、株式会社okicom、(一財)沖縄ITイノベーション戦略センター、大同火災海上保険株式会社 (計 8事業者13名)

■ 平成30年度WXBCセミナー@仙台

開催日時：平成31年1月21日 (月) 13:30～16:30

概要：WXBCについて

気象衛星ひまわりのデータの利活事例

「気象データはビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」

株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

参加者：約50名

報告事項 5. 人材育成WG報告

アメダス気象データ分析チャレンジ！@名古屋 開催報告

開催日時 10月11日（木） 9:00～17:00

開催場所 名古屋地方気象台 防災対応室

参加者 24名（気象予報士会 6名 一般企業 10名 岐阜大学生 7名 その他 1名） 講師 & スタッフ 5名

概要

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1. オリエンテーション（20分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| 2. 気象データの紹介（40分） | : 東京管区気象台 水本 志郎 |
| 3. 気象データと組み合わせるデータの紹介I（10分） | : 東京管区気象台 吉村 香 |
| 4. データ分析の基礎と個人ワーク（90分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| 5. 回帰分析の基礎（20分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| -----昼食・休憩（60分）----- | |
| 6. 気象データと組み合わせるデータの紹介II（10分） | : 東京管区気象台 吉村 香 |
| 7. グループワーク（170分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| 8. 感想発表（30分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| 9. まとめ（10分） | : 岐阜大学大学院 吉野 純 様 |
| 10. 気象台の見学（20分） | : 名古屋地方気象台 |



メッシュ気象データ分析チャレンジ！ 開催報告

開催日時 11月2日（金） 9:30～18:00

開催場所 気象庁 大会議室（気象庁5階）

参加者 WXBC会員36名

講師 & スタッフ

講師：農業・食品産業技術総合研究機構 大野 宏之 様
スタッフ：(演習アドバイザー) 岐阜大学大学院 吉野 純 様、慶應義塾大学 宮本 佳明 様
(受付サポート等) 8名

概要

- オリエンテーション（20分）
[冒頭挨拶] 先端IT活用推進コンソーシアム 田原 春美 様
- 講義I：気象庁GPVデータについて（45分）
[説明] 気象庁 遠藤 新・若山 郁生・武樋 落子
- 実習I：気象庁GPVデータのブラウズ（30分）
- 講義II：PythonによるGRIB2ファイル処理の基礎（60分）
- 昼食・休憩（60分）-----
- 実習II：wxbcgribライブラリを用いた数値予報GPVの処理（60分）
- グループワーク（120分）
- 発表会（50分）
- まとめ（10分）



報告事項 5. 人材育成WG報告

平成30年度第3回WXBCセミナー@東京 開催報告

～「AI」×「気象予報データ」で描こう！「旅」と「食」の予想天気図～

目的

・ガイドス※データ、降水15時間予報データ、ナウキャストデータについて、一般には説明されることが少ないデータの内容やフォーマット、利用上の注意点などを昨年よりさらに掘り下げて説明し、データの取り扱い方を理解していただく
・観光予報プラットフォームと気象データを組み合わせた飲食店の来客予測や、需給最適化プラットフォームと気象データを組み合わせた食品ロスの削減など、それぞれのプラットフォームにおけるビジネス活用事例を通して、気象データの活用方法を理解していただく

開催日

11月9日（金）

開催場所

気象庁講堂

募集方法

WXBC会員・非会員 同時募集

（参加者 午前39名、午後121名、会員60名、非会員54名、当日参加7名 事前申込み145名）

時間割

11:00-12:00 気象データの全体像+気象データの入手方法（基礎知識：希望者のみ）
13:00-13:10 開会挨拶（人材育成WGの活動紹介）
13:10-13:25 気象庁情報カタログ+GRIB2形式+最新のトピックスの紹介
13:25-13:55 降水15時間予報データ・ガイドスデータの概要・特徴 +データ形式（GRIB2他）
13:55-14:25 ナウキャストデータの概要・特徴+データ形式（GRIB2）
14:25-14:40 休憩
14:40-15:20 旅のミライへ！日本の四季を観光資源に、
気象データと観光予報プラットフォームの可能性 株式会社JTB様
15:20-16:00 食品ロス・廃棄を削減するデータ流通基盤「需給最適化プラットフォーム」
～気象データを活用した、予測精度の更なる向上～ 日本電気株式会社（NEC）様
16:30 閉会
会場後方に、会員様のご協力を頂き、気象データに触れることのできる体験コーナーを設置。

- ・ 株式会社JTB様「観光予報プラットフォーム」
- ・ 日本電気株式会社（NEC）様「需給最適化プラットフォーム」
- ・ 気象庁（GRIB2の処理や可視化を行うサンプルプログラムの展示を予定）



※ ガイドス : 数値予報モデルの結果を、実際の予報を行うにあたって利用しやすい形に置き換えたデータ。

報告事項 5. 人材育成WG報告

平成30年度WXBCセミナー@札幌 開催報告

気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）セミナー2018 in 北海道
ひまわりが地球に贈るもの ～気象データの高度利用に向けて～

目的

- ・「平成30年北海道胆振東部地震」により疲弊した農業・観光業界に少しでも貢献できるよう、北海道に特化した内容を取り入れ、気象衛星ひまわりのデータを中心に、気象データの利用方法を理解いただく。
- ・展示・体験コーナーにて、気象庁が配信しているデータや気象データを活用したサービス例などに触れていただく。
- ・管内気象官署職員のセミナー参加を通じて、気象データ利活用推進の地域への拡大に向けた第一歩とする。

開催日

11月28日（水）

開催場所

ACU-A1606（アスティ45ビル 札幌駅徒歩5分）

後援

北海道運輸局、ホクレン農業協同組合連合会、札幌商工会議所、地球ウォッチャーズ-気象友の会-

参加者

一般参加者：53名（WXBC会員6名、非会員47名、事前申込み63名（満員御礼））
各地方気象台・帯広測候所・新千歳航空測候所：8名

時間割

- 14:00-14:05 開会あいさつ
14:05-14:45 「気象データの全体像」
14:45-15:25 「ひまわりが地球に贈るもの」～気象衛星ひまわりの観測～
15:25-15:35 休憩
15:35-16:15 「気象情報はビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」
株式会社N T Tデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様
16:15-16:20 閉会あいさつ
16:20-17:15 体験コーナー開放

会場後方に、会員様のご協力を頂き、気象データに触れることのできる
体験コーナーを設置。

- 16:40-17:00 特別講演「気象庁データを活用した農業向け気象データサービス」
農研機構農環研 大野 宏之 様



報告事項 5. 人材育成WG報告

平成30年度WXBCセミナー@大阪 開催報告

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) セミナー2018 in 大阪

目的

- ・気象衛星ひまわりの観測データや気候リスク管理について解説するとともに、ICT業界及び飲料業界における活用事例の紹介を通じて、気象データがビジネスに繋がることを実感いただく。
- ・体験コーナーにて、実際の気象データ等に触れていただく。

開催日

12月3日 (月)

開催場所

グランフロント大阪北館タワーB (大阪駅徒歩4分)

後援

近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局、大阪商工会議所、
一般財団法人関西情報センター (KIIS)

参加者

67名 (WXBC会員6名、非会員61名) (事前申込み63名、当日参加13名)

時間割

- 13:40-14:00 気象データの全体像 + 気象データの入手方法 (基礎知識 : 希望者のみ)
14:30-14:35 開会挨拶 (気象ビジネス推進コンソーシアムの紹介)
14:35-15:15 気象衛星ひまわりで何が見えるのか ~ 気象衛星観測データの概要・特徴・形式 ~
15:15-15:45 「気象データはビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」
株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様
15:55-16:35 気候リスク管理の基礎~気候情報のビジネスへの活かし方~
16:35-16:55 自販機ビジネス HOT販売開始時期における気象データ活用について
ダイドードリンコ株式会社 浦崎 永士朗 様
16:55-17:00 閉会挨拶
17:00 閉会 (「体験コーナー」は17:30まで)

会場後方に、気象データに触れることのできる体験コーナーを設置。

- ・ 気象庁HP「高度利用ポータルサイト」
 - ・ 気象庁「ひまわり観測画像の紹介」
- 他、日本気象協会関西支社様、気象工学研究所様より出展のご協力をいただきました



報告事項 5. 人材育成WG報告

平成30年度WXBCセミナー@福岡 開催報告

平成30年度気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）セミナー in 福岡
気象ビッグデータは宝の山！ ～IoT・AI技術×気象データで新たなビジネスを～

目的

- ・「気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）セミナー in 福岡」は、「IoT・AI技術への気象情報（データ）の活用」をメインテーマとして、九州地域において気象データを活用したビジネス推進の先導者となり得る人材の育成を目標とする。
- ・セミナー参加者の交流により企業間のマッチングを促進し、気象データを活用した新たなビジネスの発掘につなげることを目指す。

開催日

12月4日（火）

開催場所

TKPガーデンシティPREMIUM博多駅前 ホールA（ザイマックス博多駅前ビル）

後援

九州運輸局、福岡市、九州商工会議所、福岡AIコミュニティ

参加者

一般参加者：90名（WXBC会員18名、非会員72名、事前申込み98名、当日参加5名）
気象台（気象庁）参加者：6名
※交流会（福岡独自の取組）参加者：38名（一般参加（部外講師含む）：20名、気象庁職員参加：18名）

時間割

- 14:00-14:05 開会の挨拶
 - 14:05-14:45 「気象ビッグデータの全体像とビジネスへの活用」
 - 14:45-15:25 「ひまわりが地球に贈るもの ～気象衛星ひまわりの観測～」
 - 15:35-16:15 「気象データはビッグデータ、AI、IoTのフロントランナー」
株式会社NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様
 - 16:15-16:55 「気象データを利用した3次元地図とシミュレーションの融合技術」
株式会社日立製作所 山口 悟史 様
 - 16:55-17:00 閉会の挨拶
- ※セミナー終了後（17:30～19:00）に講師・参加者による交流会を実施

会場後方に、気象データに触れることのできる体験コーナーを設置。

- ・ 気象庁HP「高度利用ポータルサイト」
- ・ 気象庁「ひまわり観測画像の紹介」



WXBC座談会@沖縄 開催報告

気象ビジネス推進コンソーシアム座談会 in 沖縄 開催報告

目的

- ・沖縄の主要産業である観光に焦点をあて、気象データ利活用の可能性や新たな視点を探ることを目的として、関連事業者を一堂に集め、WXBC地方開催イベントとしては初となる座談会を開催する。
- ・ファシリテーターをWXBC人材育成WG越智副座長とWXBC事務局が担うことで、参加者間の活発な意見交換の場を形成し、意見を引き出す。

開催日

12月13日（木）

開催場所

沖縄气象台

参加者

ANA沖縄空港株式会社、株式会社ロワジュール・ホテルズ沖縄、沖縄ツーリスト株式会社、日本電気株式会社、レキオソフト株式会社、株式会社okicom、（一財）沖縄 I T イノベーション戦略センター、大同火災海上保険株式会社
計 8事業者13名

内容

- ・開会挨拶
NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様
- ・参加者自己紹介、業務紹介
- ・「気象データの全体像、気象衛星観測データ」 概要説明
気象庁
- ・「気象情報はビッグデータ、IoT、AIのフロントランナー」
NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様
- ・座談会
ファシリテーター：
NTTデータ・エム・シー・エス 越智 正昭 様

※会終了後、現業室にて各種気象データを
気象庁より説明。



(3) イベント開催計画

■ アメダス気象データ分析チャレンジ！ @大阪

開催日時：平成31年2月20日（水） 10:00～17:30

概要：アメダス気象データ分析チャレンジ！（Excel版）を大阪で実施

参加者：20名（先着順）

■ 平成30年度WXBCセミナー@新潟

開催日時：平成31年2月22日（金） 13:30～16:30

概要：「農業分野における気象データの利活用」 農研機構 様

「気象衛星ひまわりで何が見えるか ～概要と利用方法～」

「気象データの全体像と入手方法」

パネルディスカッション 農業や気象データをテーマとした参加型討論会

参加者：100名（先着順）

(4) WG内勉強会活動報告 WG内勉強会 1「気象ビジネスの取り組み紹介」

時間帯：月次WG開催時間内（14時～17時）で、議事（1時間～1.5時間）終了後に実施

目的：各社の取り組みや体験談等の情報を交換/蓄積することで

- ・気象ビジネス発想のためのキーワードやヒントを得る
- ・人材育成WG活動のためのヒントや供用リソース情報を共有する

紹介内容：

- ・各社の気象ビジネスや気象データ利用への取り組み
- ・対象分野にフォーカスした背景や理由
- ・ビジネス化への道のり
- ・成功要因（これが決め手）あるいは 苦労や失敗談など（裏話 大歓迎）
- ・今後の展開
- ・気象庁への要望、依頼事項 等

発表：WGメンバーから逐次拡大

4月：気象ビジネスもろもろ：ハレックス様 <完了>

5月：農業と酪農：農研機構様、ハレックス様 <完了>

6月：清涼飲料の販売における気象データの活用：全清飲様 <完了>

7月：研究機関：岐阜大学、IT系：アイシーエス様 <完了>

9月：航空：ANAホールディングス様、気象業務：日本気象協会様 <完了>

10月：サービス系：ルグラン様、IT系：富士通様 <完了>

11月：サービス系：Japan Taxi様、IT系：AITC <完了>

12月：IT系：日立製作所様 <完了>

1月：医療系：JMDC様（Health Weatherプロジェクト）<完了>

2月：IT系：石川コンピュータ・センター様

3月：IT系：マーチャンディング・オン様

(注) 製造系（情報通信器具）：日本無線様(ゲスト) 1月～3月でご紹介の予定

アウトプット案：発表&討議のサマリー、心に残ったキーワード、気象ビジネスのヒント等

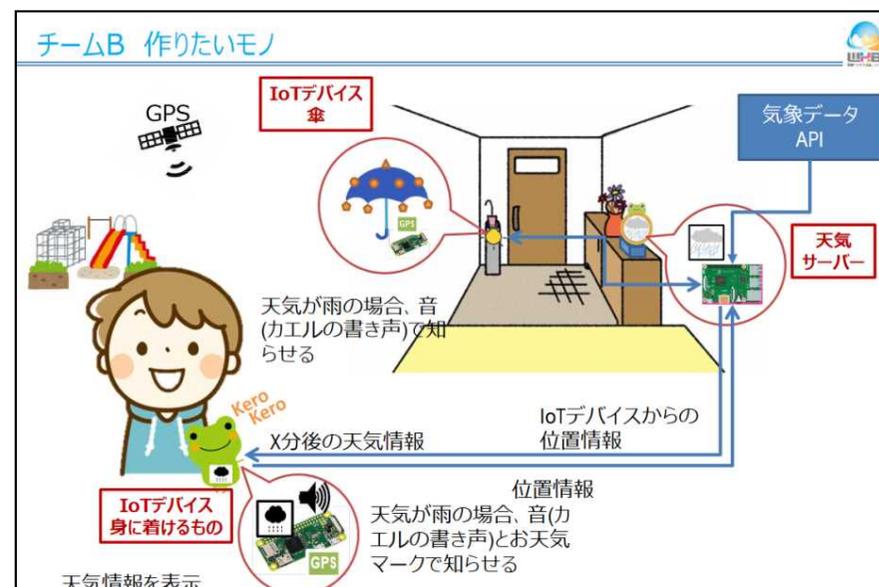
(4) WG内勉強会活動報告 WG内勉強会 2「気象×IoT勉強会」

- チーム編成 : チームA (6名)、チームB (8名)
- 6/15 (金) 第1回勉強会@気象庁 ~ 初回顔合わせ
- 7/21 (土) 第2回勉強会@ウルシステムズ (株)
製作物のイメージ固め、必要資材リスト作成
- 8/1 (水) 富士通PLY見学
(富士通 菅波様、日立製作所 米澤様、WXBC事務局)
- 8月 定例の勉強会は休み。チーム内で自主勉強会
- 8/30 (木) 必要資材、気象庁に納入
- 9月 実装開始 毎月第3土曜日午後活動
- 9/15 (土) 第3回勉強会@ウルシステムズ (株)
調達したハードの組み立て、制御仕様確認とソフトウェアの開発の進め方検討など
- 10/20 (土)、11/17 (土)、12/15 実装
- 2019年



チームA 作りたいモノのイメージ

- 共通の傘 2本 (Arduino傘 or Raspi傘)
- 各種気象量が測れてそれがWebを介して見える化できる
- GPSを使って、2本の傘のお互いの位置情報を検出し、
- お互いの傘に円周上に実装されたLEDの内、が光ってお知らせ。
- ダッシュボード機能でその地図上のその地点の各種気象量が見える
- Web上で取れる気象データと、実際に取れるデータの連携



【新規気象ビジネス創出WG開催実績】

第11回 1/11 (金)

- (1) ビジネスマッチングイベントの開催
- (2) 気象データの利活用事例集の更新
- (3) プロジェクト等の進捗、提案等について

報告事項 6. 新規気象ビジネス創出WG報告 (2018/10/04～2019/01/22)

(1) 第1回気象ビジネスマッチングフェアについて概要

- 気象データを提供する企業、気象データをビジネスに活用したい企業、データ分析やシステム構築が得意な企業など、気象データを活用した新たなビジネス共創を目指す企業が出会う場とし、マッチングイベントを開催
- **245名**が来場（事前申込者数が**145名**、当日参加が**100名**）

日時、場所：平成30年11月30日（金）12:40～18:00 ベルサール新宿グランド（新宿区西新宿）

主催：気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）

後援：経済産業省

【イベント内容】

○全体プレゼンマッチング 13:00～15:00

WXBC会員企業が持つ、気象ビジネスについての様々なニーズ・シーズを1社5分で広くプレゼン。

✓ プレゼン企業：**18社**

○個別マッチング 14:00～17:30

マッチングウェブサービス上に事前公開された各企業のニーズ・シーズから、業務提携等のビジネスパートナーを探すための20分の商談。

✓ 参加：**59社**、マッチング成立数：**120組**

○パネル展示 15:00～18:00

WXBC会員企業の、気象ビジネス等への取り組みをパネル等で紹介。関心のある企業がその場でミーティング等を行う。

✓ 展示企業：**25社**



全体プレゼンマッチングの様子



個別マッチングの様子



パネル展示の様子

(2) 気象データの利活用事例集の更新について

- 昨年度作成した「気象データの利活用事例集」について、今年度も事例を収集し、事例集の更なる充実を図る。
- まずは、WXBCホームページ（一般向け）に事例を掲載し、その後冊子を更新。



○農業、漁業、防災、室内環境、美容・健康、エネルギー、需要予測、観光、ファッション、交通・物流、レジャー、広告・販促、保険、建設、海洋、ソフトウェア等の分野を掲載
(全48ページ)

○更新版事例集での新たな取り組みは、以下のとおり。

- テーマごとのコラム（地方公共団体の取組、家電等）
- 気象データ利活用を利用した背景・経緯、気象データ利活用にあたり工夫した点、困った点、今後の展望などを明確に記載するよう変更（利活用の裾野を広げるねらい）
- 中小企業の気象データ利活用事例を強化（利活用の裾野を広げるねらい）

【今後のスケジュール】

- 1/15（火） 各企業様からの原稿提出〆切
- 1月末～2月上旬 事例集の校了
- 2/28（木） 第3回 気象ビジネスフォーラムで配布（550部用意）

○WXBC会員企業様の気象データのAPI等に関する情報も、気象ビジネス創出・拡大のため、収集中

(3) プロジェクト等の進捗、提案等について

- 以下について、WGメンバーに発表をいただいています。

第11回WG

[進捗]	「TNQL」の着物販売サイトと実証実験開始 (株式会社ルグラン様)
[進捗]	霧プロジェクト (株式会社ハレックス様)
[紹介]	「世界の天候データツール」の紹介 (世界各地の毎日の気温・降水量、干ばつ指数等) (気象庁地球環境・海洋部気候情報課)
[紹介]	頻発する豪雨災害を踏まえたダム操作の課題 (一般財団法人水源地環境センター様)
[進捗]	データジャケットとブロックチェーンで実現するデータ流通・利活用 (富士通株式会社様)

報告事項 7. 進行中の気象ビジネスの状況

- 清涼飲料及び家電流通分野での気温予測データの有効活用事例
2週間先までの気温予測データを清涼飲料及び家電流通分野における販売計画に活用する実験を実施。商品販売機会ロスの削減への活用や消費者の需要にタイムリーに応えることが可能に。
- 霧プロジェクト
気象衛星観測データや数値予報データ（日射予測を含む）を活用した霧の予測による牧草の収穫時期の決定に向け、北海道浜頓別での実証を計画中。
- 航空分野
過去の数値予報データと実測データを用いた効率的な運航に関する検討開始。
- 農業分野
農作物の育成に係る指標の静止気象衛星「ひまわり」データを用いた作成。
- 観光分野
観光予報プラットフォームでの気象データの活用について実験を実施中。

● WXBCのホームページ（コンテンツ関連）：

- 随時：WXBCライブラリにセミナー等の各種資料を掲載し内容を充実
- 進行中　WXBCホームページの内容拡充（年度末日途）
- 進行中　WG紹介ページの作成
 - ・ 新規会員が各WG入会の判断の参考にできるよう、各WGの紹介ページを作成する。
 - ・ 準備でき次第WXBCホームページに掲載
- 進行中　会員紹介ページの作成
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGにて企画
 - ・ 各会員企業の紹介ページを作成し、会員企業間のマッチングを容易にする。
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGページにて一部会員の紹介を掲載中、今後会員全体に拡大予定
- 進行中　WEB版ビジネス事例集の作成
 - ・ 新規気象ビジネス創出WGにて企画。
 - ・ ビジネス事例集を便利に利用できるよう、PDFのほか、HTMLベースのビジネス事例集を作成する。

報告事項 8. 広報関係 (2/4)

● WXBCのTwitterについて：

- セミナーの募集や各種イベントの報告等を事務局にて積極的につぶやいております。
※会員誘致を促す形式のツイートにも取り組んでおりますので、良ければフォローやリツイートをお願いします。
※気象ビジネスフォーラム (2/28) の集客のためにも、ご協力よろしくお願いいたします。
- フォロワーは、555 (1/15現在) と徐々に増えてきています。
※前回 (10月2日) 460

気象データをビジネスに活用しませんか？

WXBC
気象ビジネス推進コンソーシアム

ツイート 59 フォロワー 457 いいね 9 リスト 0 モーメント 0

プロフィールを編集

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC)
@WXBC_jp
気象ビジネス推進コンソーシアムとは、多様な気象データを高度利用し、我が国における産業活動を創出・活性化を目指す組織です。
〒東京都千代田区大手町1-3-4
wxbc.jp
2017年12月に登録

10 画像と動画

ツイート ツイートと返信 メディア

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) @WXBC_jp 9月26日
10月11日(木)に、名古屋地方気象台で「気象データ分析チャレンジ」を開催します 📍
気象データの分析手法を、実習やグループワークで基礎から学べる貴重なイベントで、[#名古屋](#) では初の開催です！
参加費無料 📄先着順の為お急ぎ下さい！
申込はコチラ！
kokuheess.com/event/index/53...
[#データ分析](#) [#気象](#)

活用できる
「気象データ分析チャレンジ」 in 名古屋
・ 表計算ソフト (EXCEL) を使って、過去の気象データとビジネスデータの関係を分析体験！
・ データ分析に必要な基礎知識や作業を学習します。
日時：2018年10月11日 (木) 09:00-17:00
会場：名古屋地方気象台 (名古屋市中村区日知寺2-1-8)
定員：25名 (先着順)

講師：
岐阜大学大学院准教授
岐阜大学工学部副学長
気象研究センター長
高野 祥
参加条件：
統計ソフト (EXCEL) の基本的な操作ができ、EXCELがインストールされたPCやタブレット/パソコンをお持ちいただける方
対象：
気象データに興味があるが、気象データを用いた分析を行ってみたい、これからのビジネスに気象データを活用してみたい事業者さま
主催：
気象ビジネス推進コンソーシアム (事務局 気業界)

気象ビジネス推進コンソーシアム (WXBC) は、気象庁の委託による気象ビジネスの推進を目的として、気象、気象データの活用や気象分野の企業、気象事業者を連携して

おすすめトレンド
ジオシティーズ 22,574件のツイート
#メカネの日 24,231件のツイート
日本一用中 3,750件のツイート
映画プリキア 11,869件のツイート
#コーヒーの日 16,756件のツイート
#tama954 2,071件のツイート
天の目 12,100件のツイート
キタユメ 2,287件のツイート
P54 Pro 64,517件のツイート
geocities 13,058件のツイート

© 2018 Twitter Twitterについて ヘルプセンター 規約 プライバシーポリシー クッキー 広告について

https://twitter.com/WXBC_jp

報告事項 8. 広報関係 (3/4)

●ニューズレター発行：

Vol	発行日	内容
42	10月12日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回気象ビジネスマッチングフェアのご案内 2. 気象・地震等の情報を扱う事業者等を対象とした講習会（第4回）のご案内 3. ひまわり観測画像の事例紹介（8月の事例、9月の事例）
43	10月18日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度第3回WXBCセミナーのご案内 2. 平成30年度 気象ビジネス推進コンソーシアム（WXBC）セミナー等のシラバスについて 3. 気象庁過去データ試用提供のデータの追加のご案内
44	10月29日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3回WXBC総会、第3回気象ビジネスフォーラムのご案内 2. 気象庁過去データ試用提供のデータの追加のご案内 3. 平成30年度気象庁気象研究所研究成果発表会のご案内
45	11月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 札幌で開催されるWXBCセミナー（11/28）のご案内 2. 大阪で開催されるWXBCセミナー（12/3）のご案内 3. 福岡で開催されるWXBCセミナー（12/4）のご案内 4. 気象データ活用ワークショップ2018（12/3）のご案内
46	11月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1. オープンセミナー「非静力学モデリングの進展と数値気象予測の今後の展望」開催のご案内 2. シンポジウム「農業に役立つ気象情報の利用－栽培支援から災害対策まで－」開催のご案内 3. 気象庁過去データ試用提供のデータの追加のご案内 4. WXBC公式TwitterとYouTubeについて
47	11月22日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 気象・地震等の情報を扱う事業者等を対象とした講習会（第5回）のご案内 2. 京都商工会議所「京商ECOサロン」での講演のご案内 3. ひまわり観測画像の事例紹介（10月の事例）
48	12月19日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 仙台で開催されるWXBCセミナー（2019/1/21）のご案内 2. 衛星データ活用技術者養成講座 のご案内 3. 気象庁過去データ試用提供へのデータ追加のお知らせ

● WXBCのYouTubeチャンネル

(<https://www.youtube.com/channel/UCyYJhGTAcPLeRnWoQxFbovw>)

- WXBCの活動等に関する様々な情報を積極的かつ即時に発信することを目的とする。
- 掲載中の動画（一般公開）
 - 越塚会長のメッセージ
 - セミナーでの講演内容
 - マッチングフェアの企業のプレゼン
- 掲載中の動画（会員限定）
 - データ分析チャレンジ！全体の動画

今後、気象ビジネスフォーラムやデータ分析チャレンジ！（Excel版）のe-Learning研修資料も掲載予定

報告事項 9. 今後のスケジュールについて

※黒字は確定スケジュール
赤字は要調整

- 平成31年2月中 第12回新規気象ビジネス創出WG
- 平成31年2月15日（金） 第19回人材育成WG
- 平成31年2月28日（木） WXBC総会、第3回気象ビジネスフォーラム
- 平成31年6月～7月頃 第12回運営委員会

※平成31年度の運営委員会も、今年度と同様、基本的に3ヶ月に1回程度の開催とし、必要に応じて追加開催。